

商 況

販 賣 旬 報 第 170 號 昭 和 6 年 8 月 14 日

製 鐵 所 販 賣 部

9、10 月積當所先物賣行狀態

先月の 8、9 月積にも 2,800 吨許りの申込があつたのに、需要期節の中心をなす 9、10 月積に 2,300 吨の申込しか見られなかつた、これは秋の需要期節に對する地場の豫想があまり香ばしいものでないとも見られるし、また見様によつてはそれだけ警戒氣分が濃厚とも考へられるが、こうした慎重の態度が却つて轉機を作ると思はれるから申込數量の少ないのは必しも悲觀するにも當らないのではあるまいか。

9、10 月積先物賣行概況 (單位吨)

區分 品 種	申 込 數 量	引 受 數 量					計
		一 中 形	二 中 形	四 型 鋼	一 大 形	二 三 大 形	
等 山	743	—	—	—	—	743	743
不 山	281	—	110	—	—	171	281
溝 形	712	—	71	6	420	215	712
工 形	548	—	—	60	—	488	548
合 計	2,284	—	181	66	420	1,617	2,284

日本黒板共販組合理事會—8、9 月積締切—

黒板共販組は 7 月 27 日大阪に於て理事會を開催、8、9 月兩月積の薄物及厚物の引受到關し協議する所有り次の通り決定した。

1. 薄 板 部

1. 内 地 向

	川 崎	製 鐵	中 山	德 山	日 鋼	合 計
8 月 賣出吨數	6,250	1,667	1,225	567	292	10,001
申込吨數	33,680	9,460	1,225	1,385	335	46,080
引受吨數	6,250	1,680	1,225	567	330	10,057
9 月 賣出吨數	6,250	1,667	1,225	567	292	10,001
申込吨數	35,045	8,775	1,225	1,665	335	47,045
引受吨數	7,200	3,600	1,225	900	360	13,285

2. 輸 出 向

	川 崎	製 鐵	中 山	德 山	日 鋼	合 計
8 月 賣出吨數	1,250	333	245	113	58	1,999
申込吨數	2,120	1,555	245	400	—	4,320
引受吨數	1,290	330	245	110	50	2,025
9 月 賣出吨數	1,250	333	245	113	58	1,999
申込吨數	3,515	1,350	245	400	25	5,535
引受吨數	800	410	245	100	40	1,595

2. 厚 板 部

	8 月 中			9 月 中		
	賣出吨	申込吨	引受吨	賣出吨	申込吨	引受吨
川 崎	2,860	3,106.5	2,838.75	2,860	2,705	2,604
製 鐵	570	1,721	500	570	1,352	470
德 山	1,900	2,160	1,848	1,900	2,276	1,922
日 鋼	670	445	430	670	620	615
計	6,000	7,432.5	5,616.75	6,000	6,953	5,611

7 月中三港輸入鋼材—2 萬吨突破

1) 鋼材の輸入も本年 1 月の 9,159 吨を底として次の様な階梯で逐次増加の趨勢を馴致し 7 月に於ては遂に 2 萬吨を突破するに至つた。

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
9,159	12,816	11,503	9,911	12,152	15,507	21,488

又此の數量の起伏の主要なる原因たる線材を除いても次の様に此漸増と云ふ傾向には變りはないのである。

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
6,258	6,825	6,964	7,057	7,580	8,706	11,782

然しこれは見方によつては 1 月あたりが過少であつて現在の數量が寧ろ妥當だとも云へない事はない。

2) 條鋼類で目立つて多くなつたのが丸鋼の 1,400 吨である、此大部分は好調だつた 3/8" や 6mm が占めて居る。其他角、平、等山、不等山など數量の多少は論外として皆増加した。

特に 6 月迄只の 3 吨の輸入しか無かつた等山が 59 吨あつた事は珍とするに足る。

鋼板 (0.7 mm 超) はこれも好調を辿つた 1/8" が主要な部分を形成して居る。

鋼板 (0.7 mm 以下) には例の 280 枚物が大阪に 300 吨弱入つて居る外例の通り長尺物が盛んに跋扈して居る。

鉄力は安い安いと云ひながら 5,000 吨に近い輸入を見た。

シートパイルは當所品の進出により愈々其影薄く 7 月は 400 吨に満たぬ數量である。

3) 近來話題の中心をなす線材は正に 1 萬吨に垂んとして居る、其内て問題の 8 番線は

神戸 820 吨 大阪 1,037 吨 (鍍線を含む) と云ふ數量である。

本年に入つてからの各月輸入は次の通りで 6 月から斷然増加して居るのが認められる。

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
2,901	5,991	4,539	2,854	4,572	6,801	9,696

ブラツセル齋藤囑託通信

7 月 1 日入電。市場閑散、相場一般に 1—志方下る。國際鋼塊組會議は 9 月に舉行の筈。

7 月 17 日發信 先週よりの獨逸財政破綻の報は歐洲

一般經濟界を大混亂状態に陥らしめ、漸く恢復の兆見えたりし鐵鋼界も再び頓坐を來し、今週の市況は獨逸財界今後の見極めのつく迄、且國際鋼塊組合存續問題の決定を見る迄は、メーカーも輸出業者も積極的に行動する腹を極め兼ねる次第と存候。

本日當地に會合せらるべき國際會議は獨逸代表者缺席の爲無期延期と相成候。

市況如斯も相場は手堅く保合居候尤も上げ過ぎの觀ありし棒鋼は先週より1志方安く£3—10—0を唱へ居候。

7月24日發信 何分獨逸財界、延いては歐洲財界成行の見込つかず、且夏枯期に入りたる爲今週の市況は商内一般に停頓の姿にて、閑散無爲に御座候。本月末を以て満期となる、國際カルテルの改造會議も獨逸恐慌の爲未だ開催の運びとならず候。

東西市況——保合

今年は春の暮れぬ内から夏枯れの聲を聞いた程の閑散振りであつたので、本物の8月に入つてからは續く暑さと東京では都市對抗の野球まで織り交ぜて、誰れの顔を見ても皆鼻の頭を赤くして居る程商買が暇だと云はれて居る。又文部省や臺灣などの大口が出ても請負業者の日和見から一向決定せず徒らに鰻の匂を撒いて居る爲め其の赤鼻をピコツかせるだけで焦慮して居ると傳へられて居る。然し今迄の買控へと統制の効果によつて其割には相場に響かず此の閑散時期には珍らしい保合状態を續けて居る。

然るに最近の外注入電が再び崩れ模様であるので、是が如何に市場に影響するか誠に心もとないと云はれる。

東京市況

丸鋼 永い間の懸案であつた富士鋼材の問題も承認と定つて一段落付いた爲め見越賣りも漸く跡を絶ち、また市中の犠牲買も手傳つてペース物は底強く保合つて居る。然しまだ58圓に買氣を呼ぶ程度になつて居ないと見られて居る。6mmはホツホツ入荷はあるが相場は不變、9mmは其後手持は漸減した様に感ぜられるが値段は變らず、12mmは先行の入荷薄を氣構へて再び氣を持つて居ると云はれ、中丸以上は賣行不振に不牙。

角、平鋼 角は例の通り無風状態を改めず相場も殆んど變らず、平も同様ではあるが前旬騰勢鮮かだつた $\frac{1}{4} \times 2$ が入荷によつて槿花一朝の夢となつて元の空阿彌に返つたのが目立つて居る。

型鋼 中型等山は一部では戻り賣りの噂もあつて氣を悪くして居る向もあるが、大體に於て底堅く保合つて居ると見られて居る。大型不等邊は11mm \times 150や、12 \times 130などが稍品薄を傳へられて居るが、大した事な

く伸び悩みの商状である。不等邊や溝、工は極度の閑散振りに匙を投げた形であるが、寧ろこんな處に好轉の契機を含むのではあるまいかと考慮を拂つて居る頭の働く筋もある。

鋼板 反撥氣勢となつた中板は此邊で一服状態に入つたと傳へられて居る、其内で4.5mmは耳付の消化が目立つて來た上目先手當薄を感じて7圓搦みを保合つてゐる。6.0mm以上不變。

大坂市況

丸鋼 日暮れて一様の暗に塗りつぶされようとする燈臺に火がともるか否かの不安裡に幾分か過ぎた。こうした際に我丸鋼を始め各種鋼材を通してジリ高歩調に轉じたことは萎微した鐵材市場人心に一抹の火を投げかけんとしてゐるやうである。民間ペース物は在庫薄に加へて關東鋼材販賣組合の難問題も圓滿に解決されたとの報に氣を良くし相場は5圓80錢見當にて取引せられ又當所ものは6圓搦みを唱へられてゐる。然し財界四圍の事情からまだ早急に樂觀は禁物とされてゐる様子である。太丸不變。

澁柿のしぶしぶ花となりけり

角、平鋼 角鋼は無材料のまま推移してゐる。平鋼は伸鐵方面の材料高及び丸鋼の好調をながめて相場は上向きつゝあると云はれ殊に民間寸法6mm \times 65mm、9 \times 65、12 \times 65等は6圓にて商内成立の模様である。

型鋼 型物は人氣幾分安定の氣味あり、かたがた相場は一般に引締つて來たやうである。これは臺灣方面よりの相當纏つた注文のあることに基因するものと見られて居る。小型山形鋼は當所積遅れにて極度の品掠れとなり相場は暴騰氣勢にあり殊に3mm \times 20mm等は12圓搦みを唱へられてゐる。中型山形鋼は市中在庫漸減の態にて6圓見當にて取引せられてゐる。溝形鋼も市場品切にて一般に7圓カツチリを唱へられてゐる。工形鋼は當所5、6、7月渡のものゝ入荷あり氣配は稍軟弱を傳へられてゐる。

鋼板 薄板は相變らず賣行良好といはれて居るが原料高製品安といふ變態的現象を示してゐる關係から既報の如く相場には響かず。1.6、3.2は値頃も相當にて目先としてもこれといふ悲觀材料も見當らないと云はれてゐる。厚板は市中皆無にて漸騰歩調にあり。

線材 最近某工場の現物買にて浮動品一巡し茲許底固き商状である。

鐵力板 本國ジリ安H内地製鐵會社の業績あがらざるところへ最近英國製オットサイズ物の輸入ありて正品級は押され氣味と云はれてゐる。

製鐵所野球部の東上

製鐵所野球部来る!

此報一度入るや出張所内は勿論東京の鐵鋼界はフーバー大統領宣ふ所のモラトリアムの入電があつたよりも氣勢が揚り、前景氣よろしく一日千秋の思で「吾等のチーム」東上の日を待つたものである。

第2回全國都市對抗野球大會に出場し、第1回戦に強敵東京俱樂部と會して一敗地に塗れ恨を呑んで北筑の野に引き揚げてより三星霜、文字通り臥薪嘗膽の苦節を積んで今日再び歩武堂々來襲する「吾等のチーム」を迎へる事となつたので、毎年大會の頃となれば東京在住の製鐵所關係筋は一度は九州の空を睨んで其の來らん事を待ち望んでゐた丈けに、夏枯の今日此頃では此上もない興奮劑とも清涼劑とも成つて、商賣を冷蔵庫の奥深く藏ひ込み應援歌と手拍子の練習に河岸を代へて今年こそ金筋を射せんものと用意おさおさ怠らず手ぐすれ引て待つたも道理である。

出張所に於ては全員を以て上京野球部應援團が組織され所長を團長とし兩課長を副團長として庶務係、會計係、接待係及應援係を置き各關係筋の後援と相俟つて後方勤務の萬全を期した。

殊に今回は八幡より應援指揮長が上京したので應援團は美事に統制され其の數も4、5百名に達し本大會に於ては勿論學生チームの試合以外に於ては嘗て見ざる堂々の應援陣が張られた。

斯くて待つ程に8月1日午後4時15分九州豫選の激しさと練磨の跡を偲ぶに足る黒き偉丈夫16名は進來野球部長、菅瀨監督、徳光マネジャーに引卒せられ、出張所全員及關係方面よりの賑々敷い出迎を受け元氣一杯に東京驛に到着、直ちに驛頭より車を驅つて明治神宮に參拜して同神前に額づき戰運に恵を垂れ賜へと祈願を籠め後半藏門の宿所に旅装を解いた。

敬神と必勝の意氣尊ぶべきものがある。

翌日の正午は出張所會議室に於て東上員一行の歡迎會が催された。會する者百數十名悉く内に勝利を願ひつゝ應援歌を高唱し、應援拍手を送つて鼓舞激勵すれば野球部長も立つて必勝を期する旨を應へ満場の全員揮然と融合して意氣合し戰前既に敵を呑むの慨を示した。

戦はん哉時機は來た。立てよ鐵人、奮へ鐵腕と我れ他人共に希ひ來るべき快戦の日を待つ事となつた。

大會は8月4日午前9時30分の入場式を以て火蓋を切られた。

其の後の製鐵軍活躍奮戦の有様は皆様御承知の通りで其の第1回戦に於て「左様ならチーム」と指名された大

豪満俱と組んで、堂々2對1のスコアを以て是れを土俵の砂に埋めてより準決勝に於て横濱軍に惜敗するまで驚嘆、感嘆、嗟嘆と世人をして三度嘆ぜしめ完全に本大會の人氣を洩ひ製鐵所野球部の聲價をいとも鮮に發揚し八幡市の爲め製鐵所の爲め萬丈の氣焔を上げた。

由來北九州は實業團野球の強を以て知られ識る者の間には製鐵所強し、とは夙に定評のあつた處で満鐵に勝つた事を今更らしく喋々されるのは選手諸君には御不満かも知れないが、球界の情勢に明るい人は少いと云ふ事を考へて戴けるならば今度製鐵所軍が投げた石は全國のファンに想像以上に大きな波紋を及ぼしたと云ふ言を肯定されると思ふ。

満俱と組む。と發表された時選手の胸中には深く必勝を期するものがあつたであらうが忌憚なく言へば一般は誰かよく製鐵軍の勝利を豫期したろう。

東都のファンの目には満俱は鬼神とも妖魔とも映じて居たのである。老翁張作霖に譬へられる濱崎投手、ベープと渾名される山下、片岡兩君以下好守猛打を以て六大學チームも或は及ばないのではないときへ噂され都市大會に於ても二度ペナントを握つて玄海を渡り南滿の一角に蟠居して、球界一方の王座を占める大チームである。

東京俱樂部が精銳を集め練習を重ねて今日の強大を成したのも満俱を屠さんが爲だつたのである。去年は不幸準決勝に於て名鐵軍に敗れたりとは云へ本年の大會に於ても他チームの目指す最後の相手は満俱か東俱かである。

満俱に勝ち東俱を屠る事こそ球界の譽、武士の面目なのである。

而も勝つた、吾等のチーム製鐵軍は此大豪を物の美事に打ち破つた。

昭和6年8月5日午後零時35分の神宮のサイレンが響き渡つて、試合の終局を告げた時、中堅後方のボールの尖端に八幡市の青色大旗は翩翩と翻つた。

選手多年の勞苦は半こゝに酬ひられ、應援の熱誠は半こゝに達せられたと云ふべきである。

7日は全神戸と對戦したが、奮ひ立つた若き鐵人の勢に如何で神戸軍が敵し得よう。彼に加藤吉兵衛老と柳田周藏老を見る時齋藤實盛の最後に似たる物の哀れを覺へさせられるが、此試合は勝つべき者が當然勝つたのである。

若さと意氣と努力とが老齡と無氣力と練習不足とを征服したのだ、斯くて満俱を屠り、神戸軍を降した我軍と高崎に復讐し名鐵を破つた横濱軍とは愈々準決勝に於て相見ゆる事となつたが、横濱軍は3人の大投手を擁して、

餘裕を残し得たる幸運に反して製鐵軍は藤井投手病んで氣力無く大岡投手を3度マウンドに送らざるを得ない状態となつたので、内に彼を挫ぐの氣魄と技術を有しながら連日の奮闘に疲れたる腕は如何とも爲し難く涙を呑んで遂に彼の軍門に降らざるを得なかつた。

風秋々として生臭き神宮原頭誰か製鐵軍の此のいたましき最後に一掬の涙を惜まぬ者があつたらう。

さはれ勝敗は兵家の常、勝も負くるも時の運である、勝つて奢らず敗れて嘆かざるこそ眞のスポーツマンシップではあるまいか、刀折れ矢盡きての敗戦を如何せん、敗れて悔無き今日の武者振をこそ讃めたゞへ度いものである。

斯くて一同明治神宮に街禮詣りをすませ、本年の都市對抗戦に於ける製鐵軍の花々しい活躍は終つた。

戦終つて顧みる時人は涼を追ふて海に山に逃れ去る三伏の酷暑に而も数日間に亘つて八幡市の爲め製鐵所の爲め選手は腕も折れよと死力を盡し應援團は咽も裂けよと應援した此の奮戦苦闘に對しては滿腔の敬意を表すると同時に深く深く感謝せずには居られない。

10日は午後6時より船を隈田川に浮べ製鐵所關係各方面の方々を網羅して大々的に慰安會が催された。製鐵所萬歳、野球部萬歳、應援團萬歳が各三唱され午後9時吾妻橋々畔に於て目出度く散會し同時に野球部も解散して此所に愈々製鐵所野球部に關する本年の都市對抗戦の幕は閉られた。

十餘日を暮して東京よさらばと、西へ去り行く戰士の胸中何を深く印したであらう。

車窓に輝くネオンサインか、銀座を歩く美女の群か否々車中の夢はいみじくも亦神宮球場に通つて優勝の幻を追ふて居るのだ。

若き血に燃ゆる製鐵所野球部のナイン諸君よ諸君の眞價は認められ、努力は年一年と酬ひられんとしてゐる。本年は不幸戦運に見舞はれずしてあの黒獅子の大優勝旗を東京に預てけ歸へられたが、東俱を屠り黒獅子を筑紫の野に連れ歸へるは諸君でなくて誰である。

捲土重來來年こそ優勝されん事を希んで止まない。前後を通じて約1週間東京の鐵商賣はお留守ですとは某新聞のゴシップだつたがそれ程關係各方面の方にも力を入れて連日スタンド蒸焼なりつゝにチョンチョンと手拍子を打つて居たものである。寒暑には口やかましいお歴々があの3日間裕に四五時間づゝはむし焼かれながらそれ程苦にもしなかつた。

意氣が氣魄が大自然の猛威を征服したのだ。何と素晴

しい消暑法ではないか。

野球應援の爲に數日を過した方々よ意氣で暑氣を拂ひ、グラウンド上より感得したる熱と努力で事に當りフキヤープレーとスポーツマンスピリットを以て終始しては如何、數日間はまたゞうちに取り返へして餘りある事必定である。

最後に熱誠な御後援を賜つた各位に深く謝意を表すると共に、幸にあの3日間に味つた感激と教訓を事務所に店頭を持ち歸へられて冷蔵庫から手商賣物を引出して拍子揃へて商賣をされんことを望む。

販賣旬報 第171號 昭和6年8月21日

製鐵所販賣部

上半期鋼材の供給

1) 沈淪2年有半、未だ好轉の曙光さへ見えず、世を擧げて嗟嘆の影のみ滿つる我鐵鋼界の昭和6年度上半期の業績は如何。

本年上半期供給數量は85萬噸に足らず正に6年の昔に返つて昭和元年のそれに匹敵すべき貧弱な數字である。それでも猶青息吐息の體たらくと云ふ憐れむべき状態を改める事が出来ぬのである。如何に不況の深刻なるかが窺はれよう。

2) 此表(表は後の一括の處にある)を讀むに當つては旬報第162號(6年5月21日)の「第1・4半期の輸入と生産」と云ふ表題の下に書いてある注意事項を参照せられたい。

即ち、此表は(1)純然たる生産と輸入の統計であるから、(2)輸出の數量を計上してをらぬ事、(3)在庫を考慮外に置いた事、及(4)輸入數量は大藏省輸入月表の數量を三港輸入で按分したものなる事。猶(5)6年分には民間に若干の不明のものがあつたが極僅少であるから推定したものを含む事等である。

3) 先づ第1表の比較表から研究して見る事とする。横の「總計」欄の最後の數量を見ると昭和4年と5年の上半期の數量は殆んど相似たものであるが1ヶ年となると昭和5年は40萬噸も減じて居る。即ち昭和5年の下期以降に於て供給の調節が漸く眞劍味を帯びて來たものである。

引き續き本年の上半期に至つては益々收縮して、前年同期に比しては40萬噸以上の供給減を現出して居る。此處で注目し得ることは此過去3ヶ年の各1ヶ年中に於ける供給の趨勢である。

昭和4年は昭和3年の好調を受けて市況は一路軟調に推移したが、供給状態としては正に飽和點に達した時期で上半期も下半期も、其供給數量には殆んど變化がな

い、即ち上半期の約 2 倍が昭和 4 年の總供給數量である。

越へて昭和 5 年は不況が追々と深刻化したる爲め月を経るに従ひ供給數量が減少して上半期が約 125 萬噸ありたるに係はず、1 ケ年の終りには約 215 萬噸で下半期に入るに及び極端な供給減となつて來たものである。

然るに昭和 6 年に入るに及んでは年初を最低として其後は數量こそ少いが漸次増加の傾向を辿つて居ると云ふことである。それは旬報第 162 號の第 1・4 半期のそれと此上半期の數量を比較すれば判明するであろう、即ち本年の第 1・4 半期の總計は約 39 萬噸であつた。然るに上半期では約 84 萬 5,000 噸であるから第 2・4 半期は 45 萬 5,000 噸の供給で第 1・4 半期に比し 6 萬 5,000 噸多くなつた譯である。

斯く 3 ケ年が各異つた徑路を辿つて居ることは充分研究すべき價值があるのではあるまいか。

本年の下半期に於ける供給の傾向は如何に變化するか豫斷の限りではないが假に 6 月迄の様な趨勢を續けるとしても今年末に於て 200 萬噸を突破するは困難の様と思はれる、そうすると丁度昭和元年と 2 年の中間位の數量となり。鐵鋼界も 5 年の昔に逆轉した事となる。

4). やはり其「總計」欄の各品種別に就て條條類を一瞥すると特に目に立つのは棒鋼の丸、角、平の減少率が型钢のそれよりも特に甚だしい事である。

丸鋼は本年が少いと云ふ事は認められるが、それよりも昭和 4 年が 3 年の好調の情性で供給過剰に陥つたのを今日迄に於て其數量を整理したとも考へられる。

角、平は不況に依る減少も勿論主要な原因ではあるが、其原因にも増して角、平其物の用途が漸次に極限せられて來たのではあるまいか、詳細は旬報第 144 號を参照せられたい。

是等に比較すると型钢類の減少は甚敷くない、然し、棒鋼の減少の理由を肯定したとすると此型钢の減少位が直接不況の原因に依る減少量ではあるまいか、只シートパイリングが當所の製作開始により著敷く減少した。

「其他」の數量が大部多いが、之には球山形鋼、丁形鋼、六角鋼、八角鋼等が含まれ球山形と丁形が主要な部分を形成して居る。

鋼板類は大して減少して居らぬ。

(0.7mm 超) は波瀾重疊であつただけ供給高も年により甚だしい浮沈がある、供給の高低甚だしき品種で靜穩な推移をなすものは決して無い。

(0.7mm 以下) は殆んど減少の跡を認められない程である、この數量から判斷すると製品の賣行が不振だと云ふ方が或は無理かも知れない。

鉄力も主力を輸入に頼つて居る間は硬軟交錯するのは已むを得ない、3 ケ年の變化を見てもよく其れが觀取される。

軌條類も可なり激烈な變化を來して減少して居る。

不思議なのは線材である、0.7mm 以下鋼板と同様に一向減少して居ない。それで時には芽を吹く事があるから不思議である。

鋼管も殆んど半減である。

5) 供給者別に眺めると、

當所としては此上半期に劃期的なものがあつた。即ち、シートパイリングの 7 萬噸である。此只の 7 萬噸が該品の輸入を根底から破壊し去つたので誠に愉快である。

總數量に於て昭和 4 年、5 年の上半期は共に民間より多い數量を供給して居るに係らず本年に至つては民間より 8 萬噸も少い數量となつた。之は決して民間の施設が増加した譯でなく其大部分は當所が犠牲となつたものではあるまいか。それは別表の 100 分率を看れば一目瞭然である。(表は後に一括の處ある)

次に不思議なのは角鋼である、純然たる當所分野のものであるのに當所として僅かに 2,800 噸の生産しかないのに、民間には官廳用品、規格品、自家用品等の名目の下に製造したのが 1,500 噸ある。それでは何の爲に分野などを決めるか、殆んど意味をなさない様にも感ぜられる。

此處に哀れを留めたのは輸入である。外注防遏の大旗の前には、さしも猛威を逞うした輸入鋼材も、遂に没落の悲運に遭ふべく餘儀なくされた。邦家の爲め何より喜ばしい事である。

去年の上半期の 25 萬噸に比し本年は僅に 8 萬 6,000 餘噸、絶滅したのに等邊山形鋼と縞鋼板がある。其他も激減に亞ぐ激減で僅かに孤城を守つて去年の數量にどうやら匹敵し得るのは線材のみである。これも遠からぬ將來に於いては神戸製鋼の増産等と相俟つて影を潜める運命の下に置かれてある。

因に 4 年の丸鋼の 5 萬 3,000 噸は例の細丸が其大部分であるから、今日此激減を見たのは當然である。

6). 第 2 表に移るが、(表は後の一括の處にある)

此説明は今迄に於て殆んど盡したから敢て贅言を弄ばない、熟讀玩味すればする程面白いと思ふ。

只此基礎を昭和 4 年に採るか 5 年に採るかは大分迷つたが、過去に於ける最多の絶頂たる昭和 4 年に置いて觀察するのも一方便と思はれたので昭和 4 年を基準としたのである。

最下段の「總計」欄に見る通り内地生産計が 82.5% を

保持し得たのは輸入が 22.9% に減じたからである。これで見ると概観して日本の鐵鋼業者は未だ未だ外國のそれより餘程恵まれて居ると云はなければならぬのであるまいか。

小型山形鋼第 5 回理事會—9、10 月積賣出し

月日場所—8 月 13 日大阪電氣俱樂部 出席者—釜石、製鐵、三井

主なる議事 9、10 月積賣出し、近來小型山形鋼の市場の好調に連れアウトサイダーの生産も可成りあるも組合への引合も中々活潑で特に市中に於ては 當所品の積遅れによる品薄の爲め上放れ氣勢となり、今月の引合約 420 吨、成立したるもの約 140 吨あつた。

外注値段は獨逸安の影響を受けて總崩れと云ふ有様なるも内地市場は前述の當所品の積遅れを利用して一部大手筋の買占めが奏效し 3mm×20 に至つては一舉 9 圓臺の高値を呼び 25mm、30mm 物まで之れに連れて 8 圓臺を現出するに至つた、然し之は畢竟品薄による一時的現象に過ぎないから組合として 9 月積値段に此變態的の情勢を加味することは 妥當を缺くので、外註の出來ぬ値段を採用し當分自重する意味で全部据置の次記値段に決定した。

3mm×20 69 圓

3mm×25、3mm×30、3mm×40、5mm×30 65 圓

5mm×40、4mm×45、6mm×45 60 圓

尙 20 呎は今回もエキストラ免除のこととし、締切は 20 日と決定した。

線材組合協議會—9 月積賣出し

8 月 17 日大阪平和俱樂部に於て開催、9 月積賣出しに關し協議す。

1、賣出値段 買手側より提出された外註値段及要望値段は前月と同様、決定値段は次の通り前月据置と決定。

製鐵所 68 圓 50 錢 神戸 68 圓

2、賣出數量 先月より神戸は 500 吨を加へ次の通り賣出す。

製鐵所 3,000 吨 神戸 3,500 吨 合計 6,500 吨

3、締切 8 月 19 日正午

中板共販理事會—9 月積賣出し

8 月 17 日大阪平和俱樂部に於て開催 9 月積賣出しに關し協議す。

1、外註値段

1.6mm 2.3mm 3.2mm 4.5mm

Cif. £ 5-12-0 5-7-6 4-17-3 4-14-0

河岸着吨當 ¥79.93 77.88 67.80 66.33

(Ex. 2/0-7/16)

2、買手側よりの希望 前記の如く外註値段より判断すれば何れも軟化しつつあり、之より需要期にも入ることなれば此際幾分値下げを行ひ 其の代り賣出數量を前月より 1 割 5 分乃至 2 割を増加して今後の外註に走らんとする傾向を押えられたし。

以上に對し組合としては外註値段及び買手側の意向を參酌し 1.6mm、3.2mm は 1 圓下げ 2.3mm、4.5mm は据置と決定し、賣出數量は東西合せて 2,500 吨とせり。

ブラツセル齋藤囑託通信

8 月 15 日入電 市場は閉散にして商賣更になし。相場次の通り。

棒 鋼 大型山形 中小型山形 工形(B·S) 鋼板(3/16")
3-7-0 3-6-0 3-7-0 3-6-0 4-0-0

7 月 25 日發信

◎獨逸入注ソヴェート鋼材内容に就いて

屢々御報告申上候通り今春來ソヴェート鋼材注文は獨逸市場にて種々噂の種と相成候處 今回其の内容に付き下記の通りの由に候

總吨數	内 譯		
	半製品及工形鋼	棒 鋼	鋼板、平、軌條
300,000 噸	60,000	120,000	120,000

品質は總てシーメンス鋼にして約定値段の約定當時の相場より幾分高きは支拂條件長期 信用分割支拂等の爲止むを得ざりしならん、即ち

半製品	工形鋼	棒 鋼	平 鋼	軌 條
£ 4-10-0	4-14-0	5-2-6	6-7-6	7-2-6
			6-17-6	

以上は總て吨當ロテルダム、ブレーメン又はハムブルグ港渡建値なりしと云はれ居り候。

◎歐洲鋼塊カルテル加盟國割當及實產比較表

本年 2 月以降 5 月迄の分を擧ぐれば

	2 月	3 月	4 月	5 月
佛 國	693,000	722,000	675,000	674,000
獨 逸	764,200	811,100	743,300	744,000
白 耳 義	222,000	241,900	245,000	246,000
ルクセンブルグ	161,000	172,400	165,800	166,000
ザ ー ル	140,000	149,600	142,000	135,000
合 計	1,980,200	2,097,000	1,971,100	1,965,000

割當部に對する超過又は減產表

	3 月	4 月	5 月
佛 國	62,000(+)	15,000(+)	14,000(+)
獨 逸	153,000(-)	221,000(-)	220,000(-)
白 耳 義	9,000(-)	6,000(-)	5,000(-)
ルクセンブルグ	3,200(-)	10,000(-)	10,000(-)
ザ ー ル	10,300(+)	3,000(+)	4,000(-)
合 計	92,900(-)	219,000(-)	225,000(-)

◎白耳義製釘製線業共販組合成立と國際

カルテル成立の可能性につきて、白耳義メーカー間に妥協を缺き居たる爲、其實現を見ざりし製線業者國際組合は今回白耳義共販組合の成立と共に漸く其の機熟せしもの、如く即ち共販組合は株式會社の形式にて7月15日成立5箇年を一期としブラツセル市に本社を置きウグレー、マリヘー系、アルベド系、ド・ウエンデル系の諸社を悉く網羅致居候。亞いて國際組合創立總會は9月當市に開かるべく目下和蘭を除く他の歐州各國は悉く參加の模様なるも結局和蘭メーカーも承諾を餘儀なくせらるべく候。即ち其參加國は白、佛、獨、和、丁、チエコ、バルカシ諸國等にて候。

之に先ち過般白、獨、輸出協定成立し輸出値段適當？志引上げを斷行致候。以上

7月31日發信 市況の夏枯期に入りたと獨逸財界不安の爲めメーカー、バイヤー共氣迷ひの姿にて當分は市況の立直りはむづかしき事と存候。

國際鋼塊組合の存續期は本日迄の處、今般の獨逸破産騒の爲め止むを得ず1ヶ月延期8月末迄としたるも休暇期なると獨逸委員側の依頼により改造協議會は9月中旬に開催する事となりたれば従つて現組合取極めは9月迄有効の事に相成るべく候。

今週の相場は(多くは名目のみ)

	Export.	Inland.
Bars	£ 3-9-0	fr. 63)
Angles	3-8-0	630
" (medium)	3-9-6	—
Joist (B.S)	3-8-0	635
Plates (3/16" or 5mm)	4-1-0	730
Joist (N.S)	3-6-0	520
Wire Rod	6--0-0	850

東 西 市 況 (盆槍)

前旬は東京が都市對抗の野球で商賈を御留守にしたが今旬は代りあひまして大阪が恒例の中等學校の對抗野球戦で店が殆んど空つぽと云ふ有様と傳へられて居る、それも商賈繁昌なら慾が張つて野球など眼中に無いのだが、どうせ此不景氣の際閑古鳥の啼く様な店先に居るよりはと云ふので飛び出すのだと云はれて居る、従つて荷動きも至極鈍く、さりとて今更外注安で値崩れする程の敏感さもなく、至つて盆槍の商狀の儘推移して居ると見られて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 6mm は7月に横濱へ外注物が 3/4" と6mm と合せて218 吨入荷した、今月に入つてからも入荷が續けられて居る模様なので愈々軟調に轉じ、9mm は今の處

では伸鐵も算盤に合はないから其方面の供給もなく、手持は増加する傾向は見られないが薩張り冴えず、12mm のみはメーカーの生産制限の爲め品拂底に強腰を傳へられて居る。ベース物は先旬は富士鋼材問題も一段落付いたので、珍らしくも稍駢りと見られたが其後關東鋼材の生産プール問題の行き惱みから一寸頭打ちの形となり市場は鳴を静めて其成行を注視して居ると云はれて居る、中丸以上九州の入荷順調に小甘い。

角、平 鋼 角は手持も相當ならざる代りに賣行も鈍くて變化なく、平も 2 1/2" 以下の安値物が若干入荷しつつあるも市場には多からぬ爲め大した影響もなく、3/4" x 1" は品薄に6圓20錢を稱へられて居る。

型 鋼 小型山形は大阪程には躍つて居らぬが、それでも品掠れの爲 3mm x 25mm 8圓30錢、3 x 3 1/2 7圓70錢と今時にしては突飛な値段を呼んで居る、中型等山は現物では未だ安値物の彷徨の跡を絶たぬ様子ではあるが扱て買ふうとなるとメーカーには安い物なく、賣行も思はしからずと云ふ譯で氣迷ひとなつたと云はれて居る。不等山、溝、工は例の通り無材料に不味、不振の連続と見られて居る。只溝の 3/8" x 3" x 6" が西路の品掠れに浚はれて6圓80錢と駢りである。

鋼 板 1.6mm は3x6、4x8 は入荷により小甘く、5x10 は賣物なきもメーカー手持を眺めて伸びず、2.3 は荷動き不振に手持薄の割には鈍調を傳へられ、3.2 は相當需要あり在荷も豊富ならず値段は保合、4.5 は先行手當薄を氣構へて好調、7圓2、30錢搦みに底堅いと云はれて居る。然し概觀した處では中板類は一應此邊で一服商狀と見られて居る。6.0mm 以上落ち付き模様を傳へられて不變

大 阪 市 況

丸 鋼 ランナー壘二壘、絶好のチャンスです。アツ、打ちました、打ちました……賣行不振の今日このごろとてオフィスに堂々とラヂオを据へ付けて刻々と放送される甲子園の野球の経過に耳を傾けてゐる程の閑散振を示してゐる。然し相場は不相變相當高値を維持して居る。當所 9mm 1圓値上げ發表は市場に稍々好感を興へてゐるやうであり、12mm 以上及びベースものは目先需要期を控へ小駢りを傳へられてゐる。中丸は共販建値を幾分上廻り殊に 60mm 等は品薄と相待つて強保合といはれてゐる。太丸は最近外註品入荷あり稍引弛みの態と云はれてゐる。

角、平 鋼 角鋼 2吋以上の中型ものは賣行不良のため採算點に達せざる有様と云はれてゐる。平鋼は一般に當所積遅れにて品掠れを現出し釜石もの、入荷も市場へは燒石に水位しか響かず手堅く保合つてゐる。

型鋼 等邊山形鋼小型物は相變らず品切れにて小腕りを唱へてゐるが民間伸鐵もの、出廻りを氣構へて茲許頭打ちの態である。中型ものは共板成立以前の安値物も昨今一掃され市中品薄にて小口當用買弗々散見せられ相場6圓カツチリを唱へられてゐる。大型物は無材料にて凡調を辿つてゐる。溝形鋼は一般に手持薄となり前旬來2圓方反騰したといはれて居る。

鋼板 一、二中板は概して堅調を失はず、1'6×4×8等は市中皆無にて8圓70錢見當を唱へられてゐる。厚板は品薄なれ共時折安値物の市場進出に頭重である。

線材 外註品の入荷減少、當所出廻不順調に加へて目先需要期を控へてゐる關係から引續き堅調を失はず。

鐵力板 市中品薄を傳へられてゐた我鐵力板も當所積遅れ品の入荷弗々あり且目下田舎の盆とて前旬來1、20錢方反落したといはれ兎に角昨今は商内は思ふやうに出來ぬので痺れを切らし暑さ凌ぎの晝寢を極め込む向が多い。

老僕の眠るも奉公晝寢かな

販賣旬報 第172號 昭和6年9月1日

製鐵所販賣部

先物協議會 10月積大型物に關する先物協議會が大阪平和俱樂部に去る13日開催された。

螢の火の様にボツと先月外注高が報ぜられたけれども、今月早や下押の電報を見せ附けられ結局フーバー景氣も空腹にビール1杯の効果と云ふ處に終るらしい。

暑いのに兎や角やの論議抜きと云ふ事になり次の通りに決定されたが會議の模様から察すれば今月の申込み大した事であるまい。

10月渡先物協議會

區分 品種	入電冲着	河岸着値段 (爲替2/0-3/8)	希望	決定	備考
角鋼ベース	4-2-6	60'67	59	60	1圓下げ
平鋼(本所分野)	4-2-6	60'67	59	60	
大型山形鋼	4-2-6	60'67	59	59	
工形鋼	4-2-0	60'43	58	59	据置
溝形鋼(吋寸法)	4-15-0	66'71	65	66	
"(耗寸法)	4-2-0	60'43	58	59	
丸鋼ベース	4-2-6	60'67			
9mm	4-7-6	63'20			
中小型山形鋼	4-4-6	61'74			
鋼板6mm以上	4-14-0	66'34			
"4.5mm	4-14-0	66'34			
"3.2mm	4-17-3	67'91			
"2.3mm	5-7-6	77'88			
"1.6mm	5-12-0	80'07			
線材B.W.G.No.5	5-17-0	69'36			
黒薄鋼板	10-15-0	139'71			
鐵力板170lbs	1-7-3	14'66			
"100lbs	0-15-3	8'23			

六軌會後報 ライトレールに關する六軌會の恒例協議會が去る25日工業俱樂部に開催された。嘗て本會議の附物であつた在庫品處分問題もどうした風の吹き廻しか今度は完全に消化され盡して、毎日の様に積出督促を受ける様な事になつてしまつた。

値段は安くとも品物が捌ければ時期が時期だから至極結構と喜ばなくてはなるまい。

協議事項の主なるものは次の通り。

1、9月以降3箇月間の引受數量 計3,000噸

1、値段一般賣イ、數量10哩未満1噸に付金72圓
ロ、10哩以上1噸に付金70圓

小型山形鋼一9、10月積締切 8月20日に締切つた9、10月積小型山形鋼の成績は次表の通り前月の申込937噸に對し1,223噸で市場に於ける小型山形の好調を映して寧ろ激増と云ふべきである。

申込引受數量

東京	大阪	名古屋	門司	計
407	692	110	14	1,223

申込通り全部引受到決定した。

中型山形鋼共販理事會—10月積賣出し

月日場所 8月24日製鐵所東京出張所 出席者 日本鋼管、東海鋼業、製鐵所

主なる議題 1、10月積先物賣出し値段

外注は其後落調急に4-1-6を報ずるに至りたるも、組合の現在の建値は單に外注値段のみを標準とすれば未だ充分下廻りて致て値下げの必要無きも四圍の情勢上此際若干の値下げをなして將來に面白味を残すが妥當なるべしとの結論に達し次記の通り附帶條件を附して前月より1圓下げの下記値段と決定した。

等邊山形鋼57圓(1圓下げ) 不等邊山形鋼58圓(1圓下げ) 附帶條件

(イ) 組合の値段は今後外注値段が組合値段を下廻らぬ限り値下げを爲さざること

(ロ) 今後6箇月間内に於て申込超過數量を引受くる場合の割當率は本月引受の実績率により決定すること

(ハ) 市場への影響を考慮して2級品は當分賣出さず、又販賣の時は理事會にて協議すること

賣出數量 需要期節に直面し市場の趨勢を察知する爲めと賣出値段の關係上限定したる賣出數量により市場を刺戟することも一考を要するを以て今月に限り賣出數量を發表せず、引受數量のみ發表することとせり。

締切と發表 締切 8月28日 發表 8月29日

2、手持注文高

7 月末現在既契約未引渡概數表

	寸法書未提出數量	提出濟引渡未濟數量	計
日本鋼管	1,200	1,270	2,470
東海鋼業	—	1,200	1,200
製鐵所	—	850	850
計	1,200	3,320	4,520

厚板共販理事會—9 月積賣出し中止

月日場所 8 月 20 日大阪甲子園ホテル 出席者 川崎、淺野、東海、製鐵、4 社

主なる議事 1、會議に入るに先ち今回販賣統制を圖る爲め組織せられたる木津川、奥小路、大阪及港の 4 シャー業者を以て成るシャーリング會より厚板の賣出に關し次の要旨の申出であり。

シャーリング業の現状は甚だ苦境にあるを以て耳付と切板の値鞘を今少し緩和せられたし

以上に對し組合としては猶其根本問題に就て研究することとして 9 月積賣出しの議事に入る

2、市場の在荷も漸次減少しつつある模様なるも極度に減退せる需要の爲め、市場値段は未だ組合販賣値段に充分ミートし居らざる現状よりして今 1 箇月先物賣出を停止する方が策の得たるものなるべしとの事に落ち付き結局 9 月積の厚板は賣出中止の事と決定せり。

3、一般賣値段 9 月積先物は前述の通り賣出中止としたるも、特殊の寸法によりては市場在庫の涸渴したるものあり且又急需品に應ずる爲め次記値段にて一般賣をなすこととせり。

耳付鋼板	定尺	切板
59 圓	65 圓	67 圓

薄板共販理事會—10 月積締切

1、日時 8 月 25 日正午 1、場所 大阪中央電氣俱樂部 1、出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵所

1、議事10月積賣出のものを 22 日締切つた結果、内地向 28,855 噸、輸出向 7,480 噸、合計 36,336 噸、他に厚物 9,754 噸あり、前月程の盛況は見られなかつたが、不相變市場の買氣旺盛なのは此不況裡の鋼材界に於て線材と共に一驚異としなければならぬ。

以上に對し協議の結果、申込中の思惑を抑制すると共に市場の趨勢を察し外注に走るを防ぐ爲め、引受噸數を増加し薄物 16,000 噸(輸出高は内 1 割とす)厚物 5,360 噸を引受くることとし次の通り割當をした。

薄板部

製造者別	内地向		輸出向		厚物部	
	申込數量	引受噸數	申込數量	引受噸數	申込數量	引受噸數
川崎	18,910	9,600	4,700	1,000	5,810	2,905
製鐵	7,810	2,790	2,250	310	790	148
中山	200	1,620	100	180		
徳山	1,580	630	460	70	2,540	1,700
日鋼	355	360	30	40	614	607
計	23,855	14,400	7,480	1,600	9,754	5,360

備考 申込數量に對し引受數量の超過せるは他會申込數量を振當取る結果なり。

黑板共販理事會—10 月積賣出し 去る 8 月 19 日黑板共販組合は通常理事會を甲子園ホテルに開催、冒頭豫てより研究問題として殘されていた中山工場増設の件に關し最後の討議を重ねたる所、目下の需給關係より見て増設は此處當分見合すを至當なりと云ふに意見一致し、中山理事に此の旨回答すると共に腹藏なき意見の交換をなしたが、同理事も其の意を諒とし、今後に於ける需要の推移を視つゝ更に研究を重ねる事を條件として舊來の儘にて昭和 7 年 8 月末日迄 1 年間組合繼續を目出度可決。

次いで 10 月積薄物賣出に入り、4 社は外注の値下り且其の先安を斟酌して一舉 4 圓下げの 134 圓を希望したが、10 月着荷の外註ものは 10-13-9 噸當 136 圓 56 錢で有り且 4 社の 4 圓下げの希望は中山が組合を脱退したる後の市場を懸念してのものであるから其の心配の去つた市場に對しては返つて悪影響ありとして 2 圓下げとすることになり又厚物に就ては同様外註に順應して全部 1 圓下げとなり結局次の通り決定發表を見た。

内地向値段

	円錢		円錢
13 枚物 3 6判	136.00	8 枚物 3 6判	122.00
13 枚物 30 吋物浪板		7 枚物同	119.00
6 呎、7 呎及 8 呎共	133.50	6 枚物同	114.00
12 枚物 3 6判	132.00	5 枚物同	104.00
11 枚物同	129.00	4 枚物同	101.00
10 枚物同	125.00	3 枚物同	96.00
9 枚物同	124.00		

格差其他は從來の通り

輸出向値段

13 枚物 3 6判 105 圓 13 枚物浪板 6 呎、7 呎、8 呎共 103 圓 1、賣出數量 數量は恒例の通り薄物 12,000 噸、厚物 6,500 噸の賣出をなした。但し薄物は申込狀況により 15,000 噸位までは引き受くることあるべき旨發表した。

線材共販組合の 9、10 月積の申込と引受 8 月 19 日に締切つた線材組合の 9、10 月積賣出成績は次の通りである。

他の鋼材は軒並みに没落の非運に遭つて居るのに此線材と黑板だけは變態的狀態で他に比し非常に多い供給數量を易々として消化して居る、それは前旬の旬報を見れば明瞭である。

然も今月の如きは先月の申込の殆んど倍數の 1 萬 4,000 餘噸となつた。之には勿論多分のプラフが含有せられて居る事は争はれぬ事實であるが、今日他の鋼材でプラフの出るだけの元氣のあるものがあるが、兎に角それだけ此線材は今の處は恵まれた状態に置かれて居ると云はれ

ばなるまい。一時は 8 番線問題などで大部嫌気がさしたものであるが却つて其警戒気分が幸にして今日の好調を誘つたとも見られる、然し此線材には「輸入」と云ふ強敵がある、今の内再び三度戒心が切要である。

内 譯	申 込				引 受			
	東京	大阪	其他	計	東京	大阪	其他	計
製鐵所製品	4,350	3,570	180	8,100	1,370	1,500	130	3,000
神戸製鋼品	200	5,845	—	6,045	—	3,500	—	3,500
計	4,550	9,415	180	14,145	1,370	5,000	130	6,500

ブラツセル齋藤囑託通信

8 月 22 日入電 市場閑散にして荷動なく加ふるに暑休と經濟不安の爲め相場安定せずして而も猶幾分下押傾向である。

8 月 23 日入電 市場閑散、商賣無し。相場下之通り。

棒 鋼 大型山形 中小型山形 工形(B.S.) 鋼板 $\frac{3}{16}$ "
3-4-0 3-3-0 3-4-0 3-4-0 3-16-0

8 月 14 日通信 目下暑中休暇期なるのと 歐洲一般財界不安定の爲め染みたる商談なく且今週の當市場は獨佛メーカーの格安オフア入込みたるため相場は漸落を演じ申候。

	Export.	Inland.
Bars (base)	£ 3-7-0	fr. 615
Angles ("")	3-6-0	620
" (medium)	3-7-0	630
" (small)	3-8-0	635
Hoops (base)	4-2-6	—
Joist (N. S.)	3-4-0	620
" (B. S.)	3-6-0	635
Wire Rod	6-0-0	850
Plates(5mm)	—	725
" ($\frac{3}{16}$ "")	4-0-0	—

東西市況一區々 暑中に引きかへ厳しかつた残暑も漸く峠を越しそろそろ机の塵でも拂つて 需要期の準備に取りかゝる時季となつたが 未だ荷物は期待する程一向動く様子もなく、只來勤に入つてから店によつては少しは影響のあるものもあると云ふ程度になつたと云はれて居る、丸鋼があまり面白くないのに引きかへ型物が何となく氣を持つて來たのが 一縷の望を繋いで居るとは云へ、最近獨逸の Aloverzee からの入電によれば型物引きくるめて 1,000 吨以上 3-19-6 と云ふのがあり、お氣に召さなければ指値して欲しいなど云ふ厭な材料も出て來て市場の氣持を悪くして居ると傳へられて居る、既報の通り 9 月からは運賃が 1 志 6 片は上がる筈であるが、實現するとしてもこんな状態では焼石に水の感があると云はれて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 ベース物は市場の數量は大した事はないが一

應行き巨つたのと、賣行が思はしく無いので伸び腦みと云ふよりは、寧ろ小甘い方で従つて此空氣が稍全般の氣分を悪くして居ると云はれて居る。6mm は内外の入荷相當あつて漸落し、9mm は手持としては至極稀薄であるが何せ市中の動きが一向無いので少しのものでも持てあまし、其の代り鐵筋を受けたものは間に合い兼ねる状態と見られて居る。12mm 未だ品薄に強腰を傳へられ、中丸以上漸次品豊富に軟調。

角、平 鋼 角の 9mm が伸鐵物が間に合ひ兼ねて駢りの外平凡、平は $\frac{1}{4}$ " \times 1"、 $\frac{1}{4}$ " が不相變 6 圓 10 錢擲みに小堅いのを除くと 3" 以上がどうやら保合つて居ると云ふ程度と云はれて居る。

型 鋼 型鋼は永い間の不振を續けて居るが 近來は注文の寸法が一寸纏まり兼ねる程 品不足状態となつたので 需要期にも向ふことであるから 或は此邊が底となつて、微温的にでも立直るのではあるまいかと見て居る 筋もある。中型山形は 5 圓 70 錢は駢りであるが是れ以上の處は一吋伸びる様子もなく西高を横目に睨んで沈黙して居る。大阪へは着の 5 圓 10 錢位で少くとも 4、500 吨は引かれた模様であるが運賃が 2 圓 80 錢位としても 5 圓 60 錢ソコソコで賣つて居るのでこれも不思議の一つである。大型等山も追々と消化され 相場は變らぬが底意は小駢りと云はれ、不等山當時分野物は品薄の割には不冴、溝形は品薄から漸く部分高の現象を呈して $\frac{3}{8}$ " \times 3 \times 6 は將來を期待され、 $3\frac{1}{2}$ " \times 10 は入用が出て小堅く、 $\frac{5}{8}$ " \times 3 \times 6 は 6 圓 90 錢と硬化したなどが目星しいものである。工形未だ動かざるもどうやら落ち付き。

鋼 板 16 は入荷により 3 \times 6 などは追々と平均されて來たが其割には響かず、再び出直して買に出て居るものさへある。23 比較的賣行なき爲弱保合を續け 32 は入荷相當ありたるも先行の見方は硬軟區々、45 は現在は品拂底に好調を迎つて居るが先行に對しては 盛に頭を働かして考へて居る状態と傳へられて居る。60mm は稍硬りであるが 9mm 以上伸びず。

大 阪 市 況

丸 鋼 盆も濟んだ、野球も暮を閉ぢた、そして愈々初秋の候となつた。而し太陽は容赦なく大地を照らし 鐵もとろけん計りである。こうした時の一雨は如何に有難く感ずることである。夏枯閑散の域を脱し得なかつた我鐵鋼界に「鐵も昨今は品薄と相俟つて 實需が弗々擡頭し 始め大分見直氣味となりました」といふ言葉をちらほら耳にするやうになつた。全く久し振りで一服の清涼劑を與へられた感がある。6mm は 7 圓 50 錢、9mm は 6 圓見當を唱へられてゐるがまだ反撥の可能性があると思

れてゐる。ベース物もストック漸減の態にて5圓90錢カッチリにて中丸殊に75mm、80mm等は市中極度の品掠れにて相場は6圓8.90錢見當である。太丸は前旬と大差なき商狀を呈してゐる。

この雨は天から殘暑見舞かな

角、平鋼 角鋼は概して上向き歩調にあり。平鋼は目下賣行良好に加へて最近1、2伸鐵工場の休業にてこの方面よりの出廻り悪しく9×65等は6圓1、20錢を唱へてゐる。

型鋼 時サイズ物は最早時代遅れとされミリサイズ物謳歌時代と變つたと云はれてゐるが、これは當所の標榜する所謂國產愛用、外注防遏主義の徹底と見られ斯界市場には好感を持たれてゐるやうである。小型等山3×25は8圓50錢、3×40は品切にて東京方面より弗々入荷ある様子なれ共相場は8圓カッチリを唱へられ殊に3×32、3×19等は市中皆無にて前者は9圓、後者は11圓搦みと云はれてゐる。中型等山6×65は6圓20錢、其他不變。溝形鋼は品拂底にて7圓30錢を唱へられてゐる。

る寸法物もある。工形鋼は在庫は普通なるも鈍狀に變りなし。

鋼板 薄板は共販の統制宜敷を得た爲め相場は小耽りを傳へられてゐる。一、二中板は珍らしくも9圓カッチリに取引されてゐる。これは一部手持筋の策動による現象と見られてゐる。3×3×6及び4×8は7圓50錢5×10は7圓80錢と小堅い。厚板はシーヤ方面の品拂底にて殊に9mm等は市中皆無と云はれ相場も別表の如く6圓50錢を唱へられてゐる。

線材 目下の呼値は

大當神	陸所戸	物品製	1英噸	71圓
			1噸	68圓50錢
			1噸	68圓

である。

市況は前報と大同小異にて先行も樂觀する向が多い。

鐵力板 相變らず續落歩調を改めず。在庫左程多きにはあらざれど佛蘭西及び伊太利の安値物近々入荷あるとの噂に氣を悪くし従つて相場も買手次第と云はれてゐる。

過去3ヶ年上半期鋼材供給

品 種	區 分	製 鐵 所			民 間		
		4 年	5 年	6 年	4 年	5 年	6 年
條 鋼	丸角平 等邊山形 不工等邊山形 溝形 シートパイピング 其他 小計	58,360	45,694	27,811	196,385	141,833	107,575
		6,609	13,398	2,890	4,558	3,518	1,571
		37,818	36,656	7,973	6,931	5,512	9,491
		29,362	30,849	31,109	44,043	49,100	31,498
		19,399	12,806	14,560	3,255	4,260	3,907
		12,762	10,572	17,333	—	—	—
		16,628	26,414	13,945	—	—	—
		—	—	7	—	—	—
		1,741	1,089	5,519	3,854	4,284	4,518
		182,679	177,478	121,147	259,026	208,507	158,560
鋼 板	鋼板0.7mm超 " 0.7mm以下 硅素鋼板 編鋼板 鐵力板 ユニバーサル平鋼 小計	76,124	101,466	68,503	76,374	87,559	82,273
		14,399	15,713	18,953	69,972	100,763	104,340
		1,669	2,647	2,124	—	—	—
		3,733	1,899	1,620	—	—	—
		8,295	10,186	13,282	—	—	—
		651	1,302	4,152	—	—	—
		104,871	133,213	108,634	146,346	188,322	186,613
軌條及 附屬品	重軌條 輕軌條 繼小計	122,093	138,273	47,564	—	—	—
		11,662	18,797	5,314	656	1,012	654
		7,224	9,760	4,675	—	—	—
140,979	166,830	57,553	656	1,012	654		
外線 鋼其	輪、車 軸材管他	2,295	3,240	2,370	3,587	4,562	2,741
		37,633	40,430	48,079	1,850	18,261	41,076
		—	—	—	34,468	47,705	29,149
4,079	2,319	996	795	6	744		
472,536	523,510	338,779	446,728	468,375	419,537		
941,838	917,769	?	907,433	840,027	?		

昭和4年上半期を基準とする5、6年上半期の百分率対照表 (商況989頁「上半期鋼材供給」参照)

品 種	製 鐵 所	民 間		内 地 生 産		輸 入		合 計			
		5 年	6 年	5 年	6 年	5 年	6 年	5 年	6 年		
條 鋼	丸角平	78.3	47.7	72.2	54.7	73.6	53.1	29.2	7.0	65.9	45.2
	邊山	20.3	43.7	77.2	31.5	151.5	39.9	47.0	12.9	125.1	33.1
	等邊山	96.9	21.1	79.5	136.9	94.2	39.0	76.5	20.4	91.2	35.8
	不工溝	105.1	106.0	111.5	71.5	108.9	85.3	56.0	0	100.9	72.4
	シ	66.0	75.1	130.9	120.0	75.3	81.5	193.4	11.0	86.9	74.6
	ト	82.8	135.8	—	—	82.8	135.8	64.0	12.5	73.2	72.8
	バ	158.9	83.9	—	—	158.9	83.9	91.1	12.0	143.6	67.7
	イ	—	—	—	—	—	—	127.3	49.5	127.3	49.5
	リ	62.6	317.0	111.2	117.2	96.0	179.4	1.2.3	12.3	106.0	115.9
	ン	97.2	66.3	80.5	61.2	87.4	63.3	61.6	14.0	81.9	52.9
鋼 板	板 0.7mm 超	133.3	90.0	114.6	107.7	124.0	98.9	119.1	12.5	123.2	84.9
	〃 0.7mm 以下	101.9	31.6	144.0	149.1	138.1	146.1	50.3	10.7	108.1	100.0
	硅 素 鋼 板	158.6	127.3	—	—	158.6	127.3	99.0	18.7	113.0	44.3
	綉 鋼 板	50.9	43.4	—	—	50.9	43.4	95.6	0	65.3	29.4
	力 板	122.8	160.1	—	—	122.8	160.1	109.5	48.7	111.8	67.8
	ニ ー バ ー サ ル 平 鋼	200.0	637.8	—	—	200.0	637.8	—	—	200.0	637.8
軌 條 及 附 屬 品	小 計	127.0	103.6	128.7	127.5	128.0	117.5	89.7	24.0	115.6	87.2
	重 軌 條	113.3	39.0	—	—	113.3	39.0	43.1	23.5	109.3	38.1
	輕 軌 條	161.2	45.6	154.3	100.0	160.8	48.5	45.7	6.5	109.9	29.9
	繼 目 板	135.1	64.7	—	—	135.1	64.7	87.8	23.9	131.1	61.0
外 線 鋼 其 他	小 計	118.3	40.8	154.3	100.0	118.5	41.1	46.3	14.2	110.4	38.1
	輪 車 軸 材 管 他	141.2	103.3	127.2	76.4	132.6	86.9	36.7	16.0	113.3	72.6
	總 計	107.4	127.8	98.7	222.0	148.6	225.8	49.9	35.3	80.1	93.6
其 他	總 計	56.9	24.4	0.8	93.6	47.7	35.7	132.5	69.1	105.9	55.6
	總 計	110.8	71.7	104.8	93.9	107.9	82.5	67.6	22.9	96.2	65.1

高 比 較 表 (販賣旬報第 171 號「上半期鋼材供給」の附表本文は本誌商況 989 頁にあり)

内 地 生 産 高			輸 入			總 計		
4 年	5 年	6 年	4 年	5 年	6 年	4 年	5 年	6 年
254,745	187,527	135,386	53,276	15,556	3,724	308,021	203,083	139,110
11,167	16,916	4,461	3,765	1,768	485	14,932	18,684	4,946
44,749	42,168	17,464	9,401	7,195	1,915	54,150	49,363	19,379
73,405	79,949	62,607	13,124	7,343	5	86,529	87,292	62,612
22,654	17,066	18,467	2,450	4,739	269	25,104	21,805	18,736
12,762	10,572	17,333	13,315	8,519	1,658	26,077	19,091	18,991
16,628	26,414	13,945	4,813	4,385	577	21,441	30,799	14,522
—	—	7	15,444	19,653	7,645	15,444	19,653	7,652
5,595	5,373	10,037	3,438	4,203	423	9,033	9,576	10,460
441,705	385,985	279,707	119,026	73,361	16,701	560,731	459,346	296,408
152,498	189,025	150,776	29,457	35,090	3,671	181,955	224,115	154,447
84,371	116,476	123,293	43,641	21,958	4,667	128,012	138,434	127,960
1,669	2,647	2,124	5,399	5,343	1,003	7,068	7,990	3,132
3,733	1,899	1,620	1,777	1,698	—	5,510	3,597	1,620
8,295	10,186	13,282	40,092	43,889	19,535	48,387	54,075	32,817
651	1,302	4,152	—	—	—	651	1,302	4,152
251,217	321,535	295,247	120,366	107,978	28,881	371,583	429,513	324,128
122,093	138,273	47,564	7,335	3,164	1,726	129,428	141,437	49,290
12,318	19,809	5,968	9,780	4,465	636	22,098	24,274	6,604
7,224	9,760	4,675	714	634	171	7,938	10,394	4,846
141,635	167,842	58,207	17,829	8,263	2,533	159,464	176,105	60,740
5,882	7,802	5,111	1,484	545	238	7,366	8,347	5,349
33,483	58,691	89,155	89,542	44,687	31,622	129,025	103,378	120,777
31,468	47,705	29,149	28,702	19,212	5,964	63,170	66,917	35,113
4,874	2,325	1,740	1,171	1,551	803	6,045	3,876	2,549
919,264	991,885	758,316	378,120	255,597	86,748	1,297,384	1,247,482	845,064
1,849,271	1,757,796	?	701,518	372,957	?	2,550,783	2,130,753	?

線材、薄板、鋺力板輸入速報

區分 品名	8 月 上 旬				8 月 中 旬				8 月 下 旬			
	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計
	自7月29日 至8月7日	自29日 至7日	自28日 至7日		自8月8日 至8月18日	自8月8日 至8月18日	自8月8日 至8月17日		自8月19日 至8月28日	〃 〃	自8月18日 至8月27日	
B.W.G.No.5	1,004	51	132	1,187	596	16	182	794	628	—	132	760
其他	659	342	41	1,042	171	30	81	282	307	50	41	398
計	1,663	393	173	2,229	767	46	263	1,076	935	50	173	1,158
上下中計	—	—	—	—	2,430	439	436	3,305	3,365	489	609	4,463
薄板0.7mm以下	747	784	301	1,832	148	569	323	1,040	38	346	252	636
上下中計	—	—	—	—	895	1,353	624	2,872	933	1,699	876	3,508
鋺力板	685	193	1,628	2,505	489	464	544	1,497	315	16	310	641
上下中計	—	—	—	—	1,174	657	2,172	4,003	1,489	673	2,482	4,644

東京大阪市中相場

(單位圓)

寸 法	上 旬		中 旬		下 旬	
	東京 8月 11日	大阪 8月 5日	東京 8月 18日	大阪 8月 15日	東京 8月 23日	大阪 8月 25日
丸 鋼						
6mm	7.70	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50
9	5.75	5.85	5.75	5.90	5.75	6.00
12	5.95	〃	6.00	〃	5.95	5.90
19	5.85	5.80	5.85	〃	5.80	〃
25	〃	5.85	〃	〃	〃	〃
50	〃	6.00	5.90	5.80	5.85	6.10
65	5.90	〃	6.00	5.90	5.95	〃
角 鋼						
9mm	6.45	6.10	6.50	6.20	6.50	6.20
12	6.00	5.80	6.00	6.10	6.00	5.80
15	5.90	〃	5.90	5.80	5.90	〃
19	〃	〃	5.85	〃	5.85	〃
38	〃	5.90	〃	6.00	〃	5.90
平 鋼						
1/4" x 1 1/2"	5.85	5.70	5.80	5.80	5.80	5.90
1/4" x 2	5.90	5.80	5.85	〃	5.85	〃
1/4" x 3	〃	5.85	5.90	〃	5.90	6.00
3/8" x 4	〃	〃	〃	6.00	6.00	5.90
1/2" x 4	〃	5.90	〃	〃	〃	〃
等 邊 山 形 鋼						
mm mm mm						
6 x 50 x 50	5.75	6.00	5.75	6.10	5.70	6.00
6 x 65 x 65	〃	6.10	〃	〃	〃	6.20
9 x 75 x 75	〃	6.00	〃	〃	〃	6.10
9 x 130 x 130	6.30	6.45	6.30	6.40	6.25	6.30
12 x 130 x 130	〃	6.50	〃	6.50	6.30	6.40
15 x 150 x 150	〃	6.30	〃	〃	〃	6.30
不 等 邊 山 形 鋼						
3/8" x 2" x 3"	6.30	6.10	6.30	6.20	6.20	6.20
3/8" x 3 x 4	5.75	6.20	5.75	〃	5.75	〃
3/8" x 3 1/2 x 5	〃	6.10	〃	〃	〃	〃
3/8" x 4 x 6	6.30	6.40	6.25	6.40	6.25	6.40
1/2" x 4 x 6	6.25	6.50	〃	6.50	〃	〃

寸 法	上 旬		中 旬		下 旬	
	東京 8月 11日	大阪 8月 5日	東京 8月 18日	大阪 8月 15日	東京 8月 28日	大阪 8月 15日
溝 形 鋼						
1/4" x 2" x 4"	6.20	6.30	6.20	6.50	6.20	6.40
0.312 x 2 1/2 x 5	6.80	6.80	6.80	6.80	6.70	6.90
3/8" x 3 x 6	6.55	7.20	6.55	7.30	〃	7.40
3/8" x 3 x 8	6.40	6.30	6.35	6.40	6.35	6.40
3/8" x 3 1/2 x 10	6.50	7.00	6.50	7.10	6.60	7.50
3/8" x 3 1/2 x 12	〃	6.90	〃	7.20	〃	7.00
工 形 鋼						
1/4" x 3" x 6"	6.20	6.30	6.20	6.40	6.20	6.30
3/8" x 6 x 12	6.30	〃	6.30	6.60	〃	〃
0.28 x 4 x 8	6.20	〃	6.20	6.40	〃	〃
0.35 x 5 x 12	6.60	7.00	6.50	7.20	6.40	6.90
0.36 x 5 x 10	6.30	7.70	6.30	7.50	6.20	7.50
鋼 板						
1.6mm x 3' x 6'	9.00	9.00	9.00	8.80	8.75	9.00
1.6 x 4 x 8	8.60	8.70	8.60	8.60	8.60	〃
3.2 x 4 x 8	7.35	7.50	7.35	7.45	7.35	7.50
3.2 x 5 x 10	7.40	7.60	7.40	7.50	〃	7.80
6.0 x 4 x 8	6.30	6.30	6.30	6.30	6.30	6.40
6.0 x 5 x 10	〃	〃	〃	〃	〃	〃
9.0 x 4 x 8	6.20	6.35	6.20	〃	6.20	6.50
9.0 x 5 x 10	〃	〃	〃	〃	〃	〃
薄 鋼 板 (13枚)						
米	54	53	54	54	53.5	55
英	52	51.5	53.5	52.5	53	53
八 幡	52	52	52.5	53	52.5	53.5
鋺 力 板						
米	{170lbs	18.10	18.00	17.50	18.00	17.30
	{100	10.30	10.00	9.70	9.80	9.50
英	{170	16.80	16.80	16.60	16.80	16.40
	{100	9.00	9.00	8.90	9.00	8.80
八 幡	{170	16.80	16.90	16.60	16.80	16.40
	{100	9.00	9.00	8.90	9.00	8.80
線 材						
No. 5		74.00	69.00	74.00	69.50	74.00

備考 單位:100kgにつき(置場値段)、但し薄板は1枚當り。線材は噸當り。鋺力板は1箱當り。

昭和6年6月中當所品種寸法別生産高 (其ノ一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		型鋼の部		鋼板の部		32	66	25	54	22	311
丸		等邊山形鋼		鋼板(0.7mm以下)		34	73	30	25	30	1,253
9mm	577	65mm	590	sheets		35	1	32	53	45	602
10	60	75	457	6	1	36	37	計	4,139	50	5,667
19	742	100	133	7	231	33	19	耳付鋼板		計	9,494
22	73	130	922	8	1	40	125	45mm	37	附屬品	
23	6	150	2,169	10	249	42	113	6	36	目板9K	38
26	8	計	4,271	13	2,249	44	324	8	1	30	370
28	66	不等邊山形鋼		0.35mm	114	45	2	9	5	50	1,194
36	2	0.43	68	B.W.G.No.		46	3	計	79	スパイキ	2
38	26	mm mm		30	225	48	69	鋼板		トラックボルトナット	6
40	2	75×50	123	計	3,138	49	30	3.2mm	12	計	1,610
42	12	75×65	211	鋼板(0.7mm超)		50	80	4.5	78	軌附計	
44	65	90×75	93	1mm	3	52	90	6	114	11,104	
45	3	100×75	121	1.2	59	54	9	8	17	線釘材の部	
46	7	125×90	106	1.4	17	56	46	9	39	線材	
48	18	150×90	484	1.5	13	58	5	計	260	5.5mm	2,245
50	312	150×100	1,123	1.6	1,872	60	69	力板		計	2,245
55	240	4'×3½"	87	1.8	82	62	45	ユニバーサル平鋼		製釘材	5,804
60	92	5×4	35	1.85	180	64"	6	130oz	687	5.5mm	5,804
65	93	計	2,388	2	111	65	176	144	118	計	8,049
90	32	溝形鋼		2.3	33	66	50	9mm	3	其他の部	
100	47	mm mm		2.5	7	67	177	10	249	鍛成品	
110	28	75×40	41	3	99	70	4	19	107	C丸 3	
115	25	100×50	51	3.2	187	72	7	計	1,164	角平 3	
120	17	125×65	475	3.5	2	75	74	其他の鋼板		E丸 32	
125	25	250×90	1,231	4	260	78	73	大形耳付	43	角平 27	
計	2,578	300×90	511	4.5	15	88	10	小形耳付	355	普通丸 11	
角鋼		6"×2½"	121	5	71	1.00	21	大形切板	31	特形狀 3	
38mm	163	6×3	178	6	64	1.25	11	計	1,164	計	82
50	210	7×3½	46	6.5	17	1/16"	4	鋼板計		18,380	其他
65	68	8×2½	127	7	1	3/16	2	大形切板	10	其他	
計	441	8×3	385	7.5	1	5/16	16	小形切板	1	其他	
平鋼		8×3½	186	8	46	1/4	7	規不定級品	4	其他	
22mm	537	計	3,352	9	85	3/8	4	計	450	其他	
25	494	乙形鋼		9.5	3	1/2	5	其他の部		其他	
32	371	mm mm mm		11	33	計	6,964	C丸 3		角平 1	
38	90	150×75×65	10	12	125	耳付鋼板		E丸 32		角平 27	
44	63	計	10	13	12	45mm	96	普通丸 11		特形狀 3	
50	81	工形鋼		14	130	6	208	計	82	其他	
90	2	mm mm		15	8	7	4	大形切板	31	其他	
92	100	100×75	93	16	194	8	142	小形切板	10	其他	
100	13	125×70	44	18	5	9	1,296	計	450	其他	
102	23	150×125	88	19	96	10	153	鋼板計		18,380	其他
112	530	180×100	225	20	39	11	70	軌條の部		軌	條
142	17	200×100	163	22	10	12	911	6K	558	8	156
1/4"	15	250×125	1,692	25	43	13	8	8	527	9	420
1/2"	26	計	2,305	28	17	14	42	9	420	12	
2/4"	13	球山形鋼		30	20	15	7	計	450	其他鋼材計	
3/8"	40	m n mm		33	5	16	455	鋼材計		57,446	
計	2,415	150×75	43	50	10	17	78	鋼材計		57,446	
スケルブ		180×75	74	20"	7	18	4	鋼材計		57,446	
72mm	220	200×75	14	21	4	19	487	鋼材計		57,446	
90	929	8'×3½"	34	25	137	20	9	鋼材計		57,446	
計	1,149	9×3½"	134	26	13	22	28	鋼材計		57,446	
棒鋼計	6,583	計	299	28	6	24	9	鋼材計		57,446	
		型鋼計		30	114			鋼材計		57,446	
		12,625						鋼材計		57,446	
		條鋼計						鋼材計		57,446	
		19,208						鋼材計		57,446	

昭和6年6月中當所品種寸法別生産高 (其の二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
銑	鐵	合金	鐵	鋼	塊	鋼	片	シート	パー		
本所 洞岡 戸畑 計	27,993 15,722 9,693 53,408	フエロ シリコン 計	34 34	普通鋼塊 電氣爐塊 鋼塊 坩堝鋼塊 鑄造鋼塊 計	83,877 466 16 659 85,018	内部向 外部向 計	45,517 7,042 52,559	内部向 外部向 計	11,275 4,682 15,957		

昭和6年7月中當所品種寸法別生産高 (其の一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		140mm	8	40mm	5	球山形鋼	2mm	42	38"	30	
丸鋼		150	14	45	59		23	640	40	147	
9mm	2,268	6"	13	50	352	mm mm	24	2	42	127	
12	460	計	1,281	90	284	150×75	25	9	44	145	
16	660	平鋼		100	38	180×75					
19	19	19mm	123	130	1,143	200×75	26	14	46	14	
22	423	22	98	計	2,539	計	3	3	48	48	
25	20	38	95	不等邊山形鋼		乙形鋼	32	252	49	28	
28	86	40	1	mm mm			4	45	50	51	
50	324	44	34	50×35	10	mm mm mm					
55	93	45	1	65×50	25	40×50×100	45	117	51	3	
60	63	50	109	80×60	6	70×80×130	5	55	52	66	
65	195	60	4	90×60	54	計	55	1	54	9	
70	33	65	29	125×75	94	丁形鋼	57	1	56	66	
75	212	75	61	125×90	104	3"×3"	6	74	58	10	
80	77	112	298	150×90	413	計	65	7	60	34	
85	2	125	42	150×100	420	型鋼計	7	10	62	15	
95	20	計	895	5"×4"	21	11307	8	31	64	15	
130	37	溝形鋼		計	1,147	19735	9	31	65	84	
135	87	mm mm mm		125×65	50	鋼板の部	10	783	66	22	
140	66	4×10×70	6	200×70	7	鋼板(0.7mm以下)	11	6	67	173	
145	13	計	6	230×80	195	sheets	12	219	70	7	
150	28	スケルプ		230×90	99	13	15	15	72	2	
200	11	57mm	12	300×90	714	10	19	19	75	26	
計	5,197	72	592	380×100	515	9	15	29	78	13	
角鋼		75	183	5"×2½"	128	7	16	81	81	12	
10mm	7	90	88	6×2½	213	6	1	18	82	4	
16	231	94	30	6×3	48	5	1	18	85	2	
19	7	計	905	7×3	109	B.W.G.No.	19	22	85	2	
20	1	ストリップ		8×2½	68	28	20	11	125	1	
25	9	82mm	44	8×3	101	30	22	35	⅜"	1	
30	1	92	10	8×3½	22	35mm	25	11	¼	1	
32	66	計	144	計	2,269	43	28	19	¼	52	
36	2	棒鋼計	8,428	工形鋼		計	38	14	計	6,719	
38	168	型鋼の部		mm mm		鋼板(0.7mm超)	42	4	ユニバーサル平鋼		
50	22	等邊山形鋼		150×75	37	0.8mm	45	5	130oz	682	
65	288	20mm	45	150×125	194	1	50	19	144	361	
75	178	25	292	200×150	115	12	20	1	125mm	1	
90	95	30	200	200×100	136	25	22	62	計	1,044	
100	122	35	41	300×150	1,351	26	30	30	鉾力板		
120	37	計		400×150	956	28	40	129	95	748	
130	11			12"×5"	86	30	40	18	100	517	
				18×7	2,287	32	30	57	170	619	
				計	5,162	34	30	4	B.W.G.No.		
						35	36	60	29	102	
						36	37	7	30	417	
						37			計	2,403	

昭和6年7月當所品種寸法別生産高 (其ノ二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
綳鋼板		未剪斷綳板 (耳付)		10	641	製釘材		銑鐵		シートバー	
4.5mm	248	3.2mm	2	15	360	5.5mm	2,869	本所	28,024	内部向	9,529
6	324	4.5	74	30	2,032	計	2,869	洞岡	15,350	外部向	4,702
6.5	1	6	60	37	1,132	線釘計	8,042	戸畑	10,655	計	14,231
7	1	8	20	50	2,611			計	54,029	短尺	997
8	72	9	2	計	8,172	其他の部		合金鐵		層計	1,017
9	56	12	4	附屬品		普通鋼	36	フエロン	25		1,984
12計	703	計	162	FP 22K	74	鍛成	53	シリコン	25		
未剪斷板 (耳付)		二級品板		30	725	電氣爐	12	計	25		
6mm	87	大形板	1,087	トラックボルトナット	12	坩堝	101	鋼塊	77,830		
8	54	大形切板	305	計	811	計	310	普通鋼塊	16		
9	479	大形耳付板	4	軌附計	8,983	外車	25	坩堝塊	574		
11	69	計	1,396	線釘材の部		鋼	23	電氣爐塊	502		
12	422	鋼板計	17,065	線		リベット	136	鑄造鋼塊	78,922		
15	13	軌條の部		5.5mm	5,173	ナット	5	計			
16	217	軌		計	5,173	其他の部	600	鋼片			
19	152	6K	1,210			鋼材合計	54,425	内部向	43,157		
25計	1,537	8	186					外部向	3,542		
								計	46,699		

昭和6年7月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

區分	品種	神戶	大阪	横濱	7月計	前月計	本年累計	前年同期計
鋼	丸角	524	250	632	1,406	471	3,890	14,819
	鋼	138	—	57	195	134	514	1,697
	平	393	—	301	694	615	1,970	7,312
	等	—	—	59	59	—	62	6,870
	不溝	—	—	3	3	—	182	4,295
	工	1	—	—	1	101	383	3,928
	鋼板 (0.7mm 超)	—	—	—	—	413	1,101	7,789
	〃 (0.7mm 以下)	219	184	311	714	503	2,676	32,070
	鈹軌線	260	1,116	274	1,650	1,055	7,920	24,643
	力條材	1,623	301	2,654	4,578	2,933	19,852	36,558
シートパイピング	鋼	5	—	375	380	432	2,195	7,220
	其他	5,863	2,641	192	9,696	6,801	37,354	41,943
	計	—	378	—	378	431	5,440	19,337
鋼其	管	181	305	489	975	951	5,678	17,489
	其他	222	314	223	759	667	3,318	15,111
	計	9,429	5,489	6,570	21,488	15,507	92,535	241,081
硫石	炭	2,037	—	2,128	41,165	31,143	86,609	—
	ナク	—	—	—	—	—	85	—
	フリ	222	20	167	409	372	1,445	—
酸	シリ	69	—	36	105	66	330	—
	ンル	—	—	—	—	—	—	—

昭和6年7月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		造船材料		半圓鋼		$\frac{1}{8}$ " 168		60 33		4 88	
丸	鋼	$1\frac{1}{16}$ "	16	計	31	$\frac{3}{16}$ "	3	70 36		$4\frac{3}{4}$	25
$\frac{3}{16}$ "	253	$1\frac{1}{4}$ "	10	六角鋼		$\frac{1}{4}$ "	3	80 35		5	4
$\frac{1}{4}$ "	102	$2\frac{1}{2}$ "	29	計	21	$\frac{3}{8}$ "	1	90 5		6	62
$\frac{5}{16}$ "	50	計	55	八角鋼		$\frac{7}{8}$ "	4	100 38		$6\frac{1}{2}$ "	16
$\frac{1}{2}$ "	2	丸鋼計	1,407	計	2	$1\frac{3}{8}$ "	2	mixed 81		$7\frac{1}{2}$ "	—
$\frac{3}{8}$ "	73	角鋼		其他の棒鋼		1mm	2	O.l size 2,002		8	13
$\frac{1}{2}$ "	1			計	2	1.6	1	Others 1,722		$8\frac{5}{8}$ "	14
$\frac{3}{16}$ "	29			計	2	1.75	30	計 4,575		9	4
$\frac{1}{2}$ "	1			棒鋼計	2,350	2.22	2	鋼板計 7,206		10	72
$\frac{1}{2}$ "	55			型鋼の部		2.41	1	軌條及附屬品の部		$4\frac{1}{2}$ mm	9
$\frac{5}{16}$ "	1			等邊山形鋼		2.5	2	軌 條		200	24
$\frac{3}{8}$ "	18			1"	10	3	1	重量不明		Others	18
$\frac{1}{2}$ "	1			$1\frac{1}{2}$ "	5	B.W.G.No.		Pipe fitting		Pipe fitting	43
$\frac{5}{16}$ "	1			2	20	11	53	計 380		鋼管計	975
$\frac{3}{4}$ "	12			$2\frac{1}{2}$ "	9	12	13	繼目板		特殊鋼	
$\frac{1}{2}$ "	14			3	10	13	1	重量不明		丸鋼	216
$\frac{3}{8}$ "	14			4x4	5	13	1	計 3		角鋼	19
$\frac{1}{2}$ "	17			計	59	14	20	軌附計	383	平鋼	63
1	7			不等邊山形鋼		15	9	線材の部		鋼板	33
$1\frac{1}{8}$ "	5			mm mm		16	30	線 材		其他鋼材計	339
$1\frac{1}{4}$ "	5			40x20	2	17	1	5mm	76	外輪	
$1\frac{3}{8}$ "	2			50x25	1	18	2	5.15	50	計	4
$1\frac{1}{2}$ "	1			計	3	19	9	B.W.G.No.		其他鋼材計	343
$1\frac{3}{4}$ "	17			溝形鋼		20	1	8	1,908	鋼材計	21,481
2	10			Others	1	21	2	6	811	シ-ト	571
$2\frac{1}{32}$ "	5			計	1	27	47	5	6,172	バレット	434
$2\frac{1}{4}$ "	7			球山形鋼		28	11	4	36	ピルム	51
$2\frac{1}{2}$ "	5			(造船材料)		30	485	3	125	ブルーム	51
$2\frac{1}{2}$ "	33			8"x3 1/2"	13	31	319	2	81	フェロ	215
2 3/4	5			計	13	32	85	1	133	ク	18
3	12			丁形鋼		33	104	0	64	ケツ	
3 1/4	3			1 1/2" x 1 1/2"	50	Others	260	000	32	ス	
3 1/2	11			2x2	10	計	1,652	A.S.W.No.		チ-ル	
3 3/4	3			2 1/2 x 2 1/2	4	電氣鐵板		5	152		
4	1			3x3	9	0.014"	67	2	50		
4 1/4	35			計	73	0.35mm	82	Others	27		
4 1/2	33			シートパイピング		計		鋼板			
4 3/4	11			計	378	縞鋼板		線材計	9,637		
5	41			型鋼計	527	$\frac{3}{16}$ mm	72	鋼管の部			
5 1/4	10			條鋼計	2,877	$\frac{1}{4}$ "	93	鋼 管			
5 1/2	30			鋼板の部		$\frac{5}{16}$ "	20	$\frac{1}{2}$ "	12		
6	116			鋼板(0.7mm起)		計	185	$\frac{3}{4}$ "	249		
6 1/4	1			$\frac{1}{16}$ "	280	lbs		1	153		
6 1/2	12			$\frac{3}{32}$ "	56	100	27	1 1/4	51		
7	15			計		170	566	1 1/2	9		
7 1/2	16			鋼板計	2,877	40	2	2	78		
8	15			鋼板の部		50	28	3	30		
4mm	1			鋼板(0.7mm起)				3 1/2	1		
5	1			$\frac{1}{16}$ "	280						
6	204			$\frac{3}{32}$ "	56						
16	4			計							
33	10			鋼板計	2,877						
52.5	15			鋼板の部							
計	1,352			鋼板(0.7mm起)							
				$\frac{1}{16}$ "	280						
				$\frac{3}{32}$ "	56						
				計							